

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第2区分
 【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公開番号】特開2008-128437(P2008-128437A)
 【公開日】平成20年6月5日(2008.6.5)
 【年通号数】公開・登録公報2008-022
 【出願番号】特願2006-316927(P2006-316927)
 【国際特許分類】

F 1 6 H 61/14 (2006.01)

【FI】

F 1 6 H 61/14 6 0 1 H

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月1日(2008.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ロックアップクラッチ付トルクコンバータを備えた自動変速機を搭載した車両のクリープ制御装置であって、

スロットル開度を検出するスロットル開度検出手段と、

車両の走行速度を検出する車速検出手段と、

路面の勾配を検出する勾配検出手段と、

ロックアップクラッチの締結を制御するロックアップクラッチ締結制御手段とを具備し

、
 前記スロットル開度検出手段によりスロットル開度がほぼ全閉状態であると検出され、シフトレンジが走行レンジで且つ前記車速検出手段により車両が微速もしくは停止状態であると検出されたとき、前記ロックアップクラッチをすべり締結するとともに、路面の勾配が大きい程前記ロックアップクラッチ制御手段により該ロックアップクラッチの締結度を解放側に制御することを特徴とする車両のクリープ制御装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によると、ロックアップクラッチ付トルクコンバータを備えた自動変速機を搭載した車両のクリープ制御装置であって、スロットル開度を検出するスロットル開度検出手段と、車両の走行速度を検出する車速検出手段と、路面の勾配を検出する勾配検出手段と、ロックアップクラッチの締結を制御するロックアップクラッチ締結制御手段とを具備し、前記スロットル開度検出手段によりスロットル開度がほぼ全閉状態であると検出され、シフトレンジが走行レンジで且つ前記車速検出手段により車両が微速もしくは停止状態であると検出されたとき、前記ロックアップクラッチをすべり締結するとともに、路面の勾配が大きい程前記ロックアップクラッチ制御手段により該ロックアップクラッチの締結度を解放側に制御することを特徴とする車両のクリープ制御装置が提供される。